

# 会見小だより

令和5年6月30日  
第3号  
南部町立会見小学校

夢や希望を持ち 仲間と共に努力する 会見の子



## 言葉（あいさつ）のキャッチボール

校長 生田 久枝

6月12日の一斉公開日には、たくさんの保護者の皆様、地域の皆様にご来校いただきありがとうございました。1日を通して学習や生活の様子を見ていただけたことをとても嬉しく思っています。学校はいつでも開放していますので、今後も学校の様子を見に来ていただけたらと思います。

さて、6月の全校集会で、「言葉（あいさつ）のキャッチボール」について話をしました。キャッチボールは、相手のことを考えて相手を取りやすいように投げないといけません。これを言葉に置きかえて考えてみましょう。言葉をつかう時、相手のことを考えて、相手が受け取りやすい、やさしい言葉をつかっているでしょうか。

学校での子どもたちの言葉づかいを聞いていると、キャッチボールではなく、ドッジボールになっていることがあります。相手が嫌な気持ち、悲しい気持ちになる言葉をぶつけている場面があります。

自分が言った言葉を最初に聞くのは自分の脳です。悪口や、からかい、マイナスの言葉は、相手を傷つけるだけでなく、自分もその言葉をたくさん聞くことになり、ネガティブ脳になっていきます。



ネガティブ脳

逆に、やさしい言葉や元気がでる言葉、前向きな言葉をたくさん言うと、ポジティブ脳になります。会見小の子どもたちには、やさしい言葉や元気がでる言葉、前向きな言葉のキャッチボールをたくさんしてほしいと思います。



ポジティブ脳

あいさつも同じです。朝、校門の辺りに立って子どもたちにあいさつをしていますが、大きく3通りに分かれます。

- ① 自分からあいさつをする子
- ② 私があいさつをすると、あいさつをする子
- ③ 私があいさつをしても、あいさつをしない子

中には、帽子をとって深々とお辞儀をしながらあいさつをする子や、遠くから大きな声であいさつをする子もいます。とても気持ちがよく、私も元気になります。逆に、あいさつに元気がないと、「体調が悪いのかな。」「何かあったのかな。」と心配になります。

家庭や地域ではどうでしょうか。あいさつはコミュニケーションの第一歩です。またスポーツの試合などでも始めと終わりには必ずあいさつをします。礼儀作法でもあります。

家庭や地域でも、言葉のキャッチボール、あいさつのキャッチボールができるよう、子どもたちに声かけをしていただけたらと思います。やさしい言葉、気持ちのよいあいさつでつながる会見にしましょう。



## 子どもたちの活躍の足跡



### 【プール掃除】

児童みんなで水泳学習の準備をしました。特に、4年生は小プール、5、6年生は、大プールをきれいにしてくれました。きれいになったプールで、しっかりと水泳学習をがんばる会見っ子です！



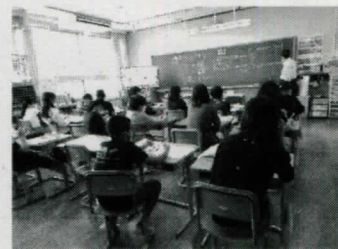
### 【新体力テスト】

年々、児童の体力低下が伝えられていますが、果たして会見っ子の結果は！？



### 【町内一斉公開日】

お家の方や地域の方に、たくさんお越しいただき、子ども達はいつもに増して、はりきって、学習に取り組んでいました。参観の感想もたくさんお寄せいただき、ありがとうございました。



### 【Check!】

- ・気温が高くなる時期です。運動後の水分補給を行うためにも、なるべく水筒を用意しましょう。また熱中症予防のためにも「早寝・早起き・朝ごはん」に努めましょう。
- ・集団登校も少しずつ慣れてきて、きまりよく登校できている地区が多くなっています。その一方で、下校については、まだまだ問題も多く、寄り道や通学路以外の道を通っている児童もいるようです。学校・保護者・地域の3者の目で、善悪の判断のつく会見の子を育てていきましょう。